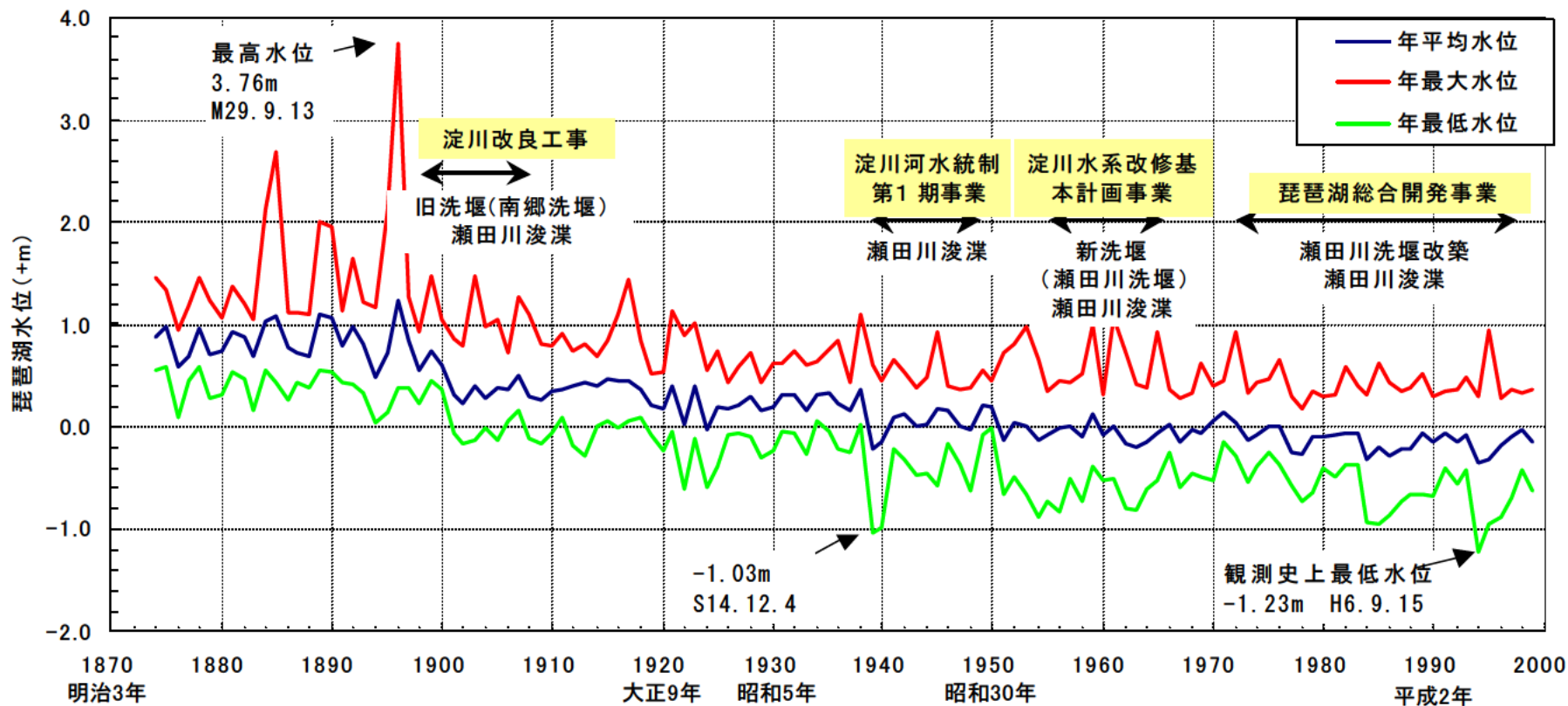


1. 琵琶湖水位の変化

1.1. 琵琶湖水位の過去からの変化

◆ 水位変動の実態

明治以降の瀬田川の浚渫により、琵琶湖の水位が下がり、以前よりも浸水頻度が減少しました。

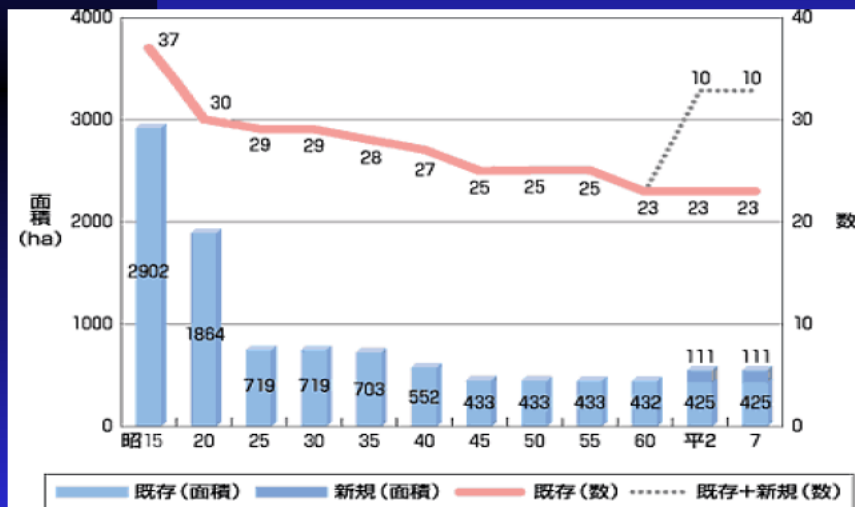


2. 琵琶湖湖辺の変化

2.1 内湖干拓の推移

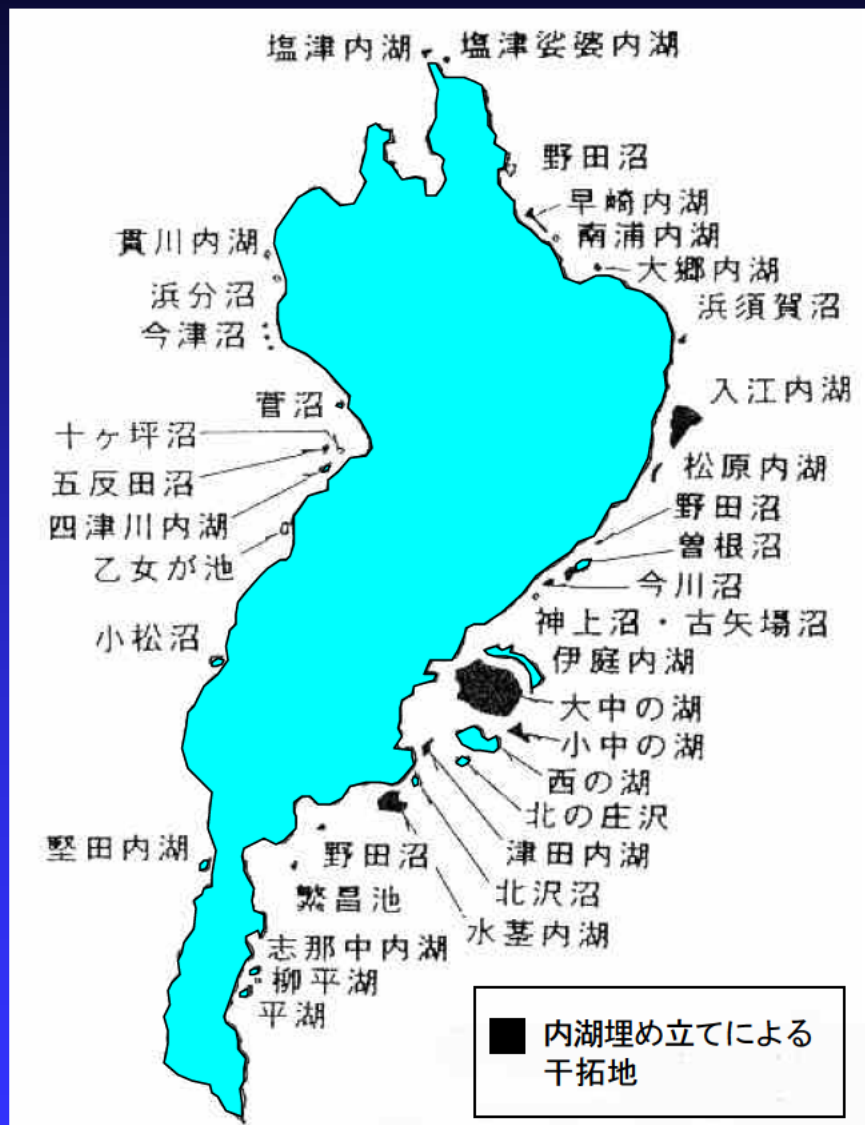
◆ 琵琶湖の内湖

昭和60年代まで内湖埋め立てによる干拓が行われていた。



出典: 滋賀県琵琶湖研究所 「琵琶湖研究—集水域から湖水まで— 昭和63年」
及び、琵琶湖干拓史編集委員会他「琵琶湖干拓史 昭和45年」より

内湖の推移



出典: 滋賀県琵琶湖研究所 「琵琶湖研究—集水域から湖水まで— 昭和63年」より

2. 琵琶湖湖辺の変化

2.1 内湖干拓の推移

◆ 内湖の減少



平成7年

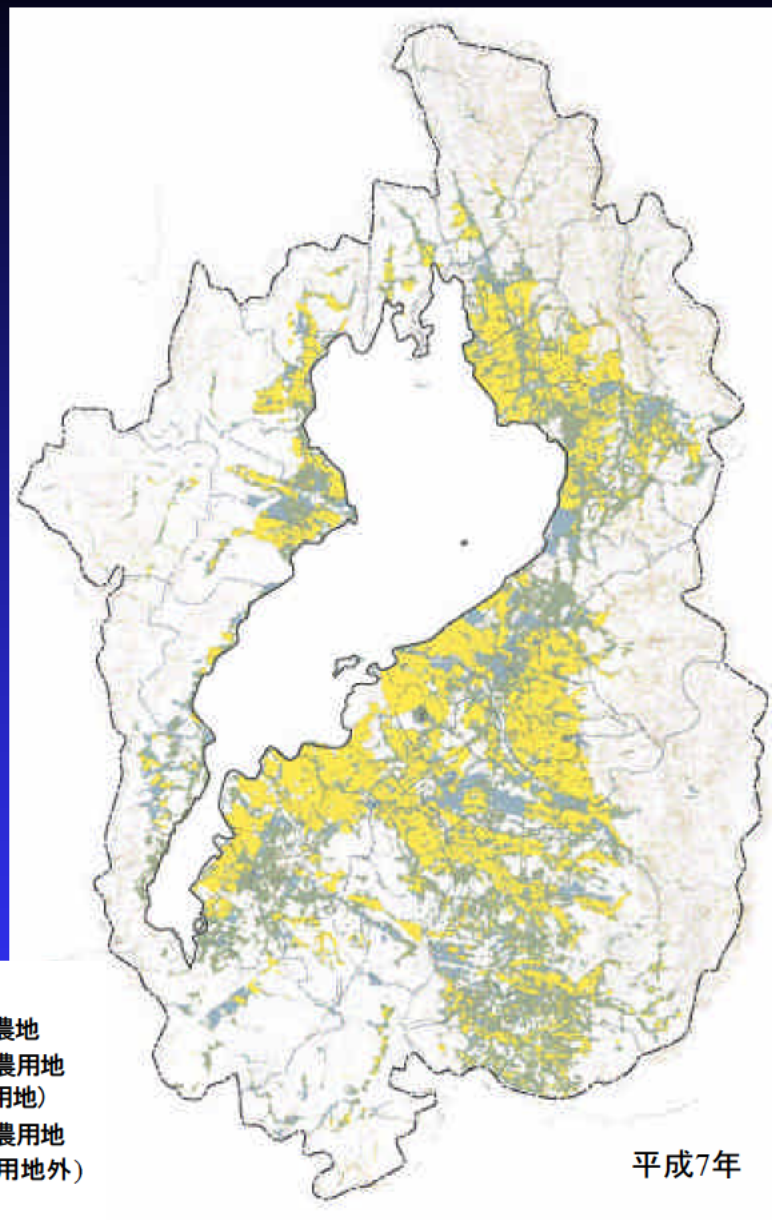
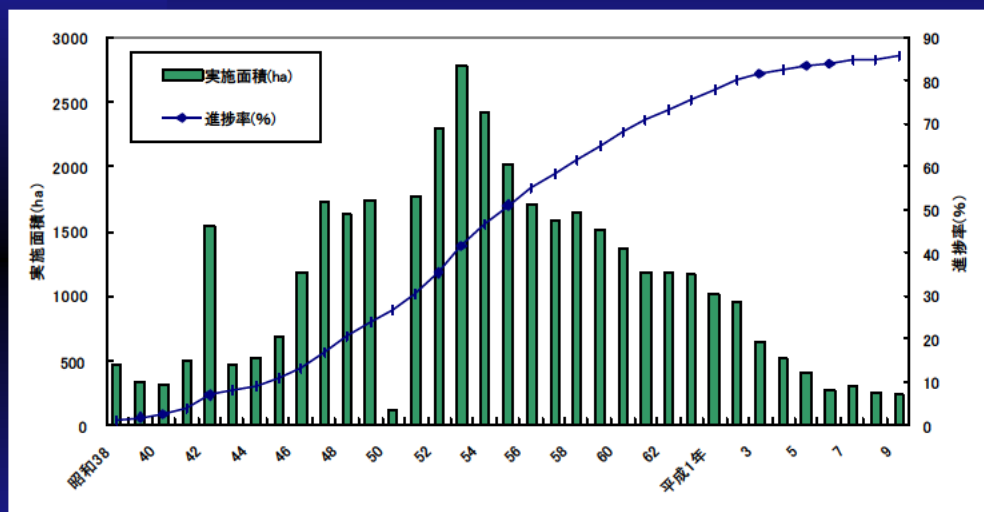


昭和30年

2. 琵琶湖湖辺の変化

2.2 圃場整備実施状況

◆ 圃場整備実施地域位置図



- 凡例
- 整備済農地
 - 未整備農用地 (農振農用地)
 - 未整備農用地 (農振農用地外)
 - 干拓地

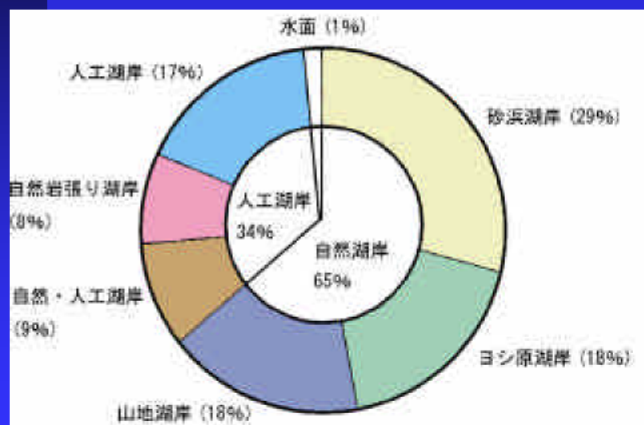
出典：滋賀県資料より事務局が作成

琵琶湖の総合的な保全のための計画調査報告書 資料編より (H11.3)

2. 琵琶湖湖辺の変化

2.3 琵琶湖岸の状況

◆ 湖岸区分図



2. 琵琶湖湖辺の変化

2.3 琵琶湖岸の状況

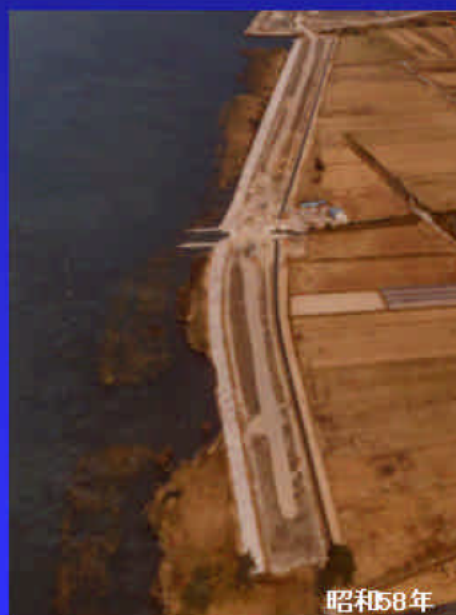
◆ 湖岸整備前後の比較



築堤前

築堤中

築堤後



出典:「淡海上永く創り 琵琶湖開発事業史」
(現近畿地方整備局、水資源開発公団)

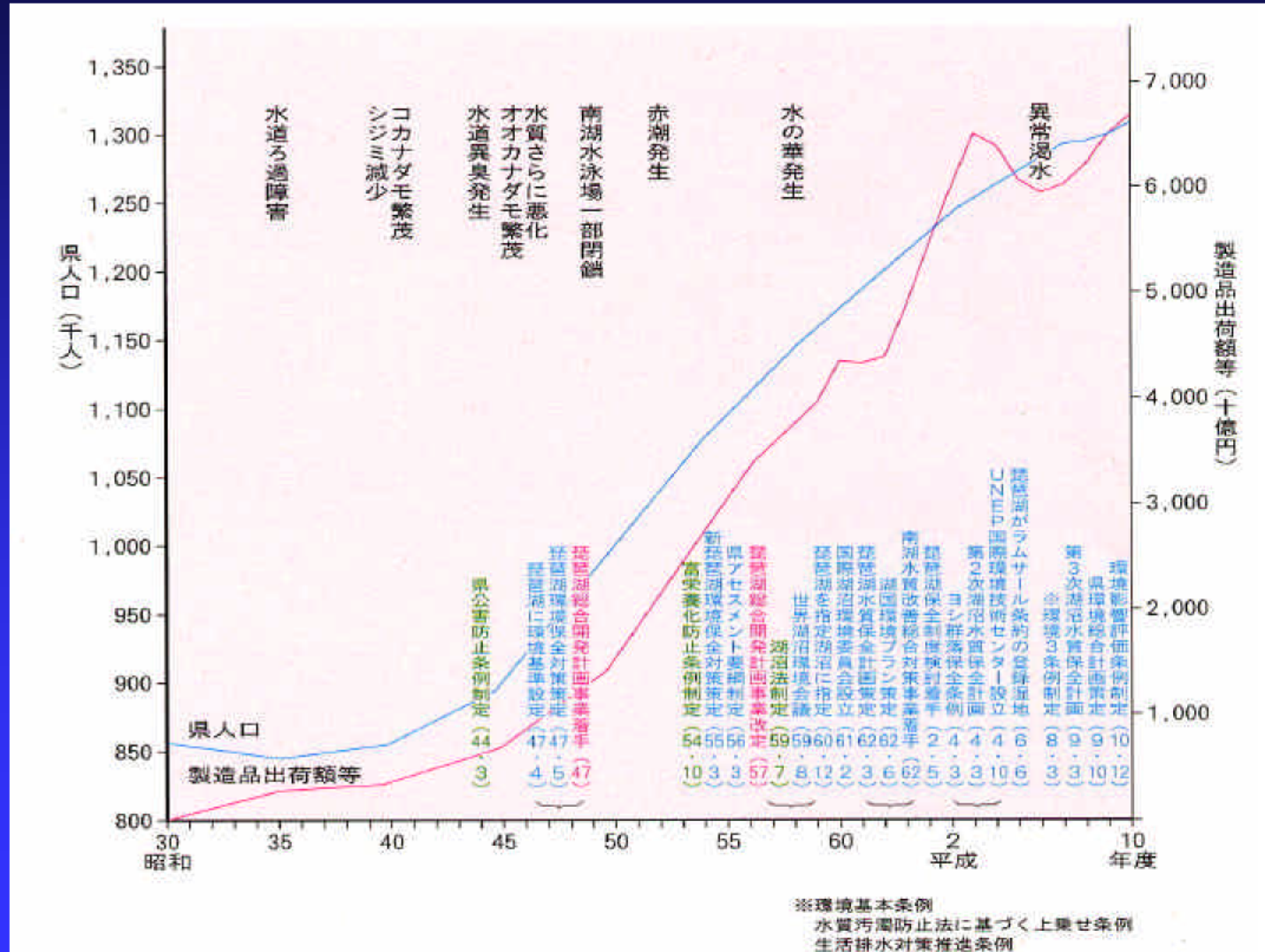
出典:「琵琶湖開発事業現況写真」
水資源開発公団

草津地区_志那南2工区湖岸堤

2. 琵琶湖湖辺の変化

2.4 人口の推移

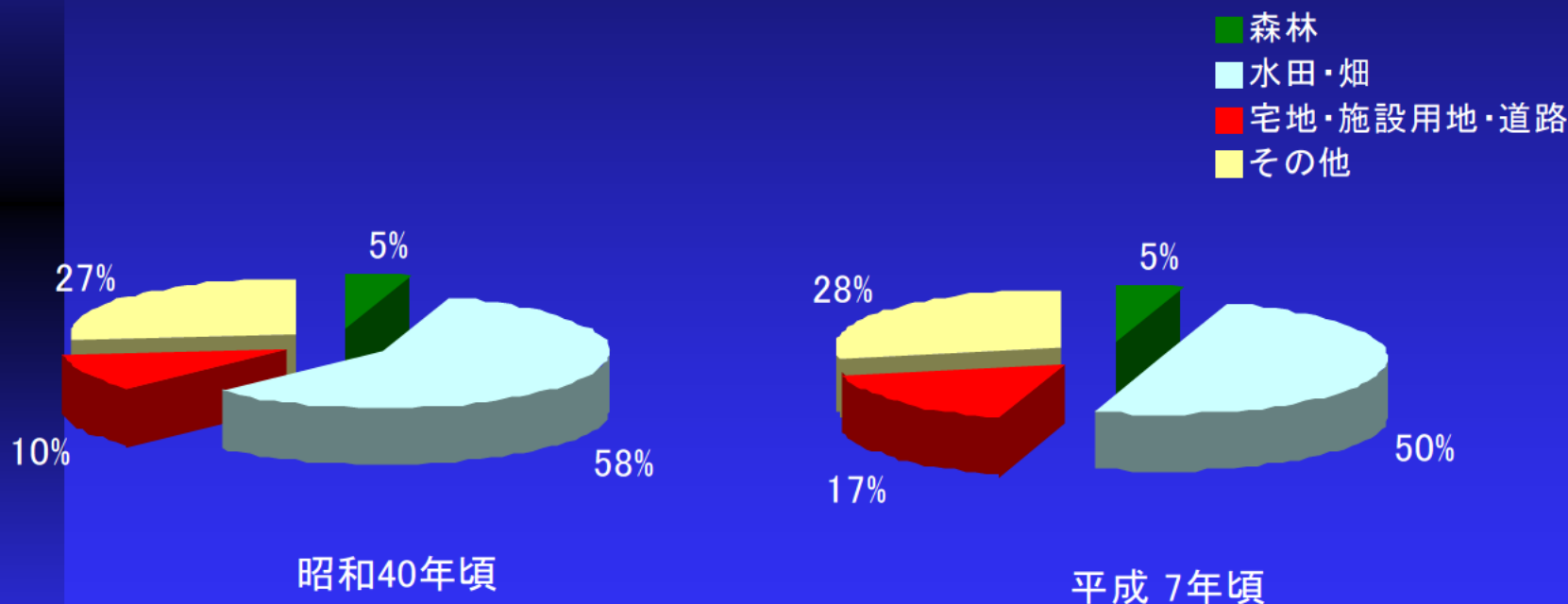
◆ 人口と製品出荷額の比較



2. 琵琶湖湖辺の変化

2.5 土地利用状況の推移

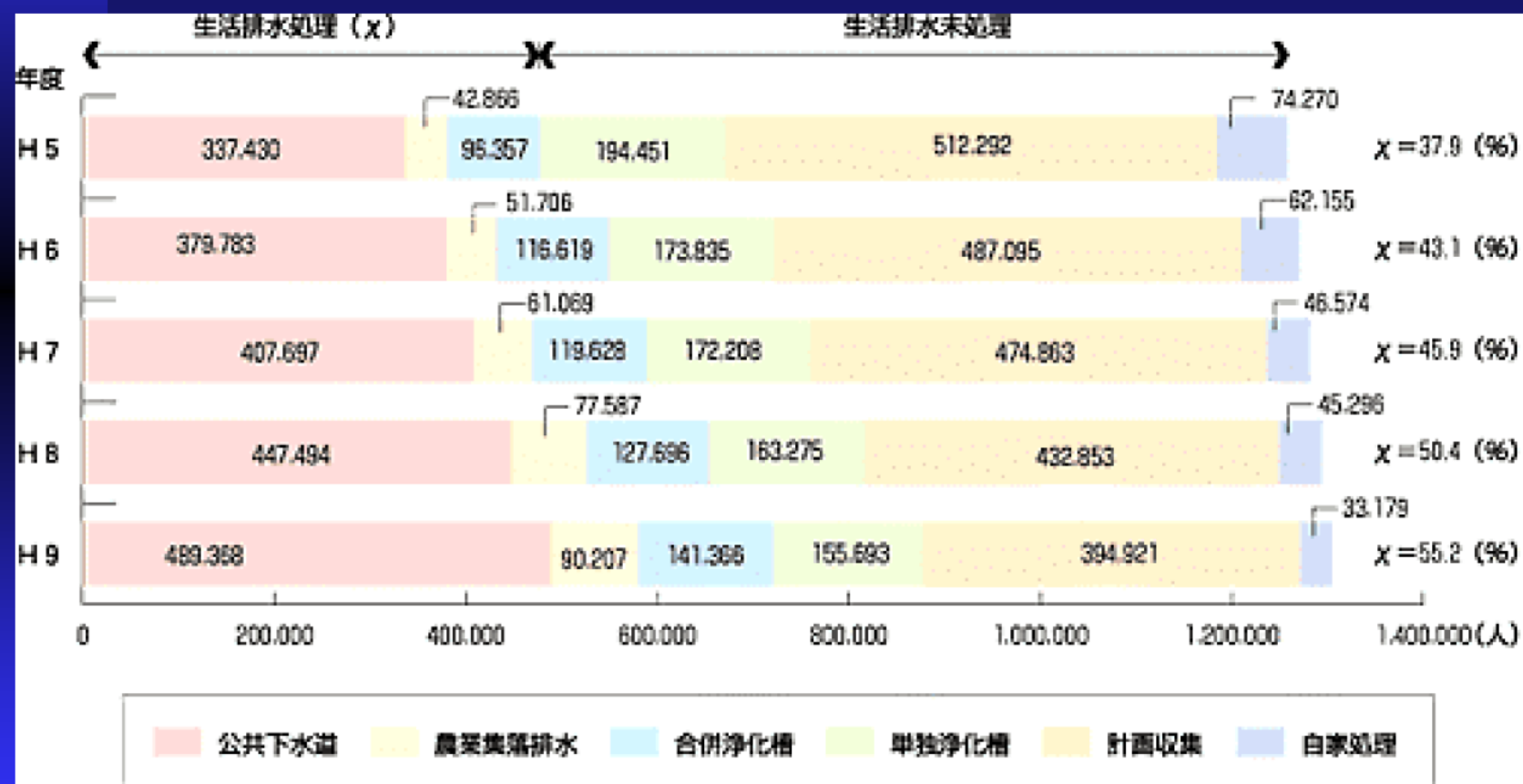
◆ 土地利用の変化



2. 琵琶湖湖辺の変化

2.5 下水道普及率の推移

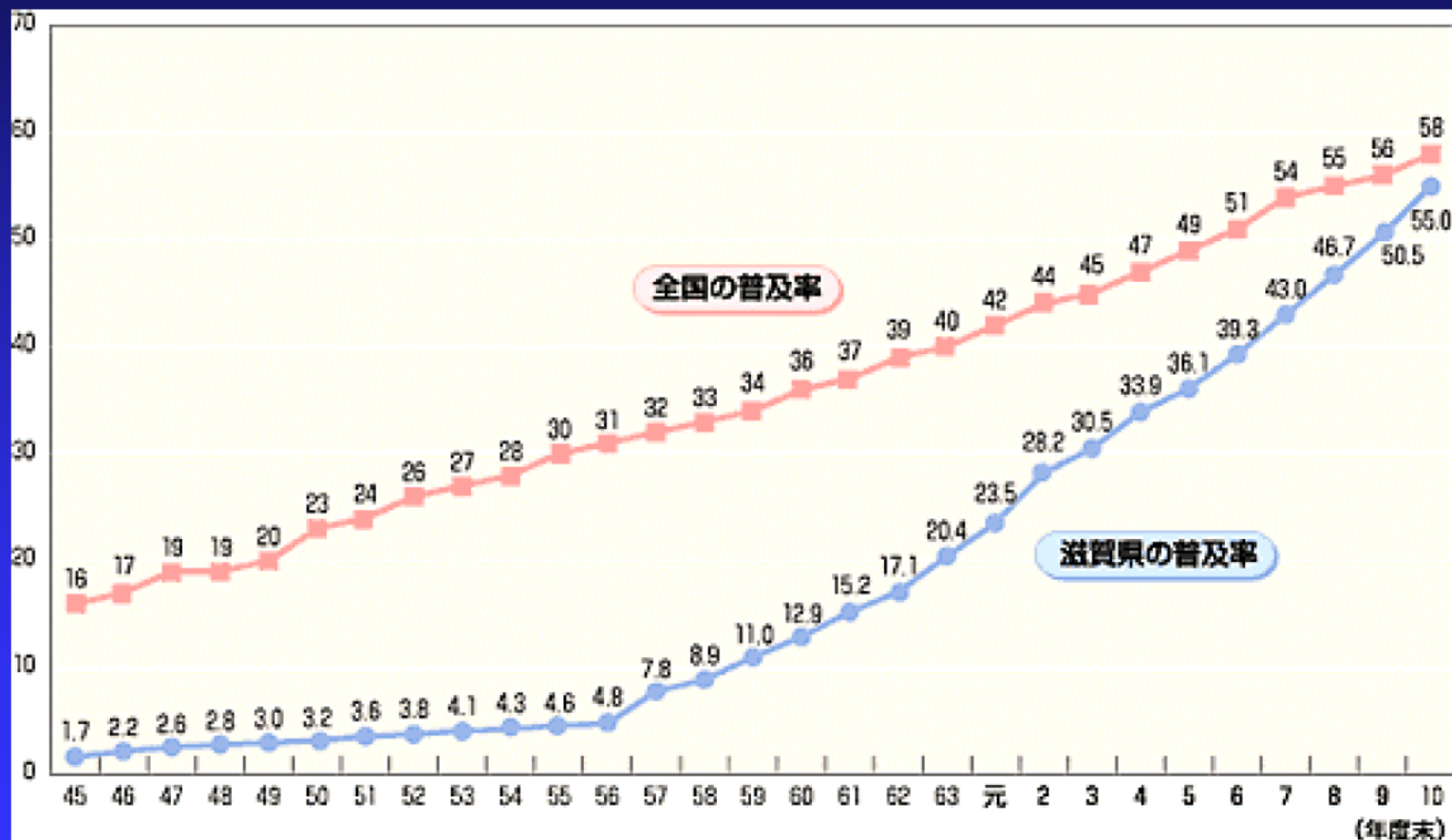
◆ 生活排水処理状況



2. 琵琶湖湖辺の変化

2.5 下水道普及率の推移

◆ 全国と滋賀県普及率の比較

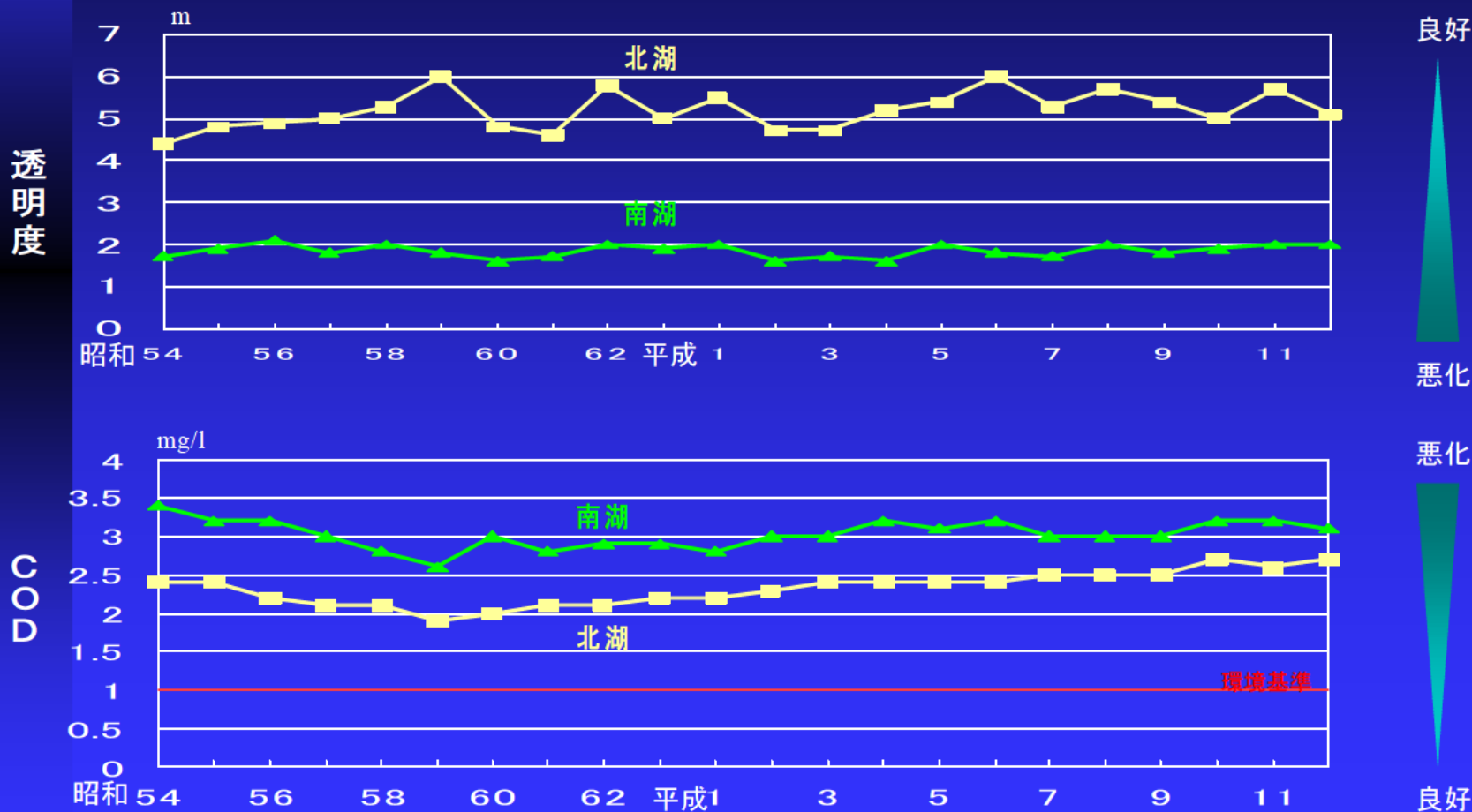


出典：滋賀県の下水道

3. 水質の変化

3.1 透明度及びCODの経年変化

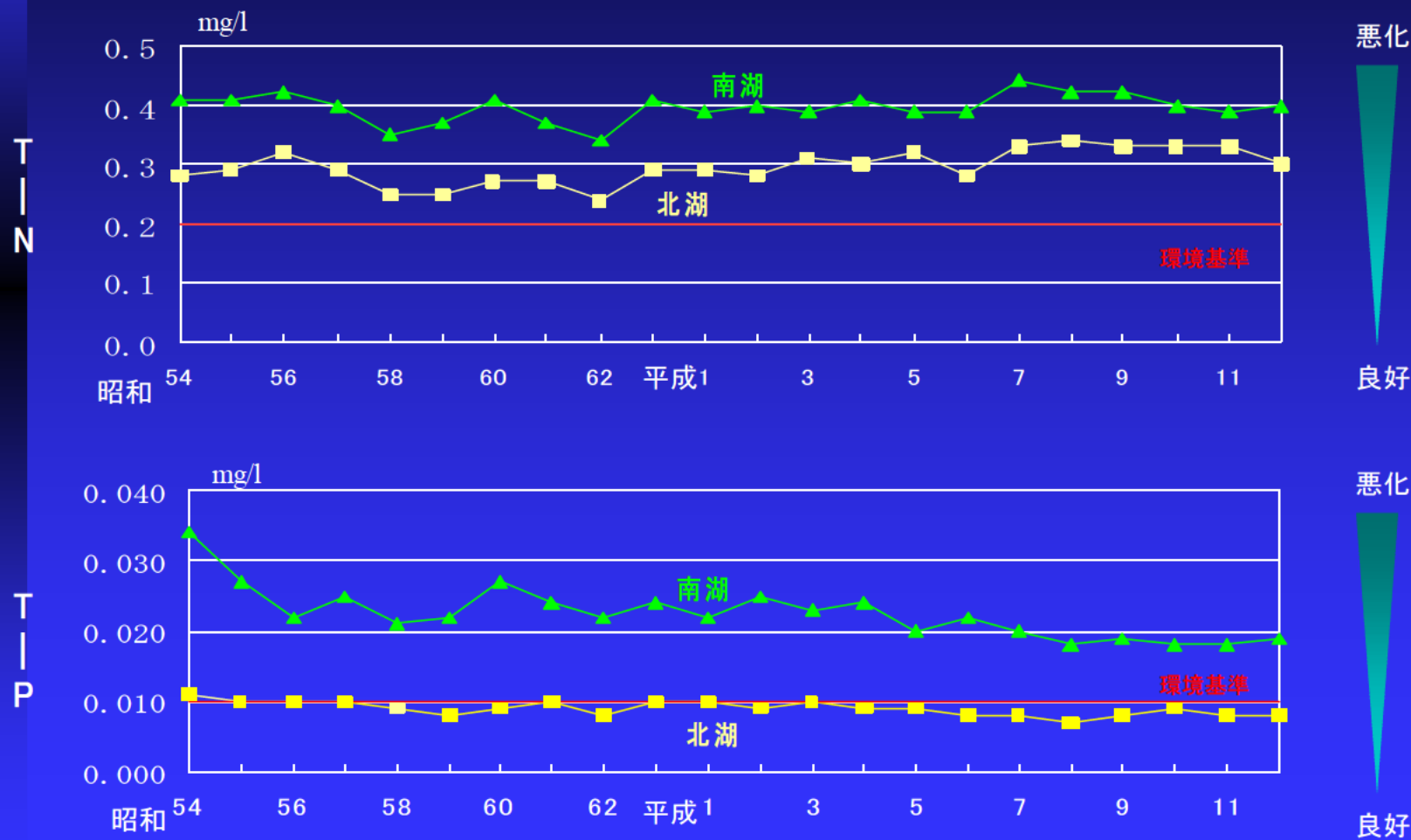
◆ 北湖と南湖の 透明度とCOD



3. 水質の変化

3.2 T-N及びT-Pの経年変化

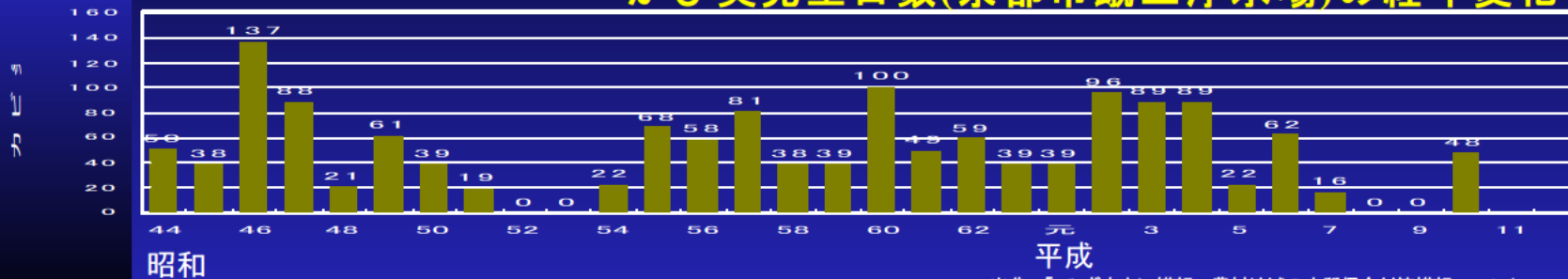
◆ 北湖と南湖の T-NとT-P



3. 水質の変化

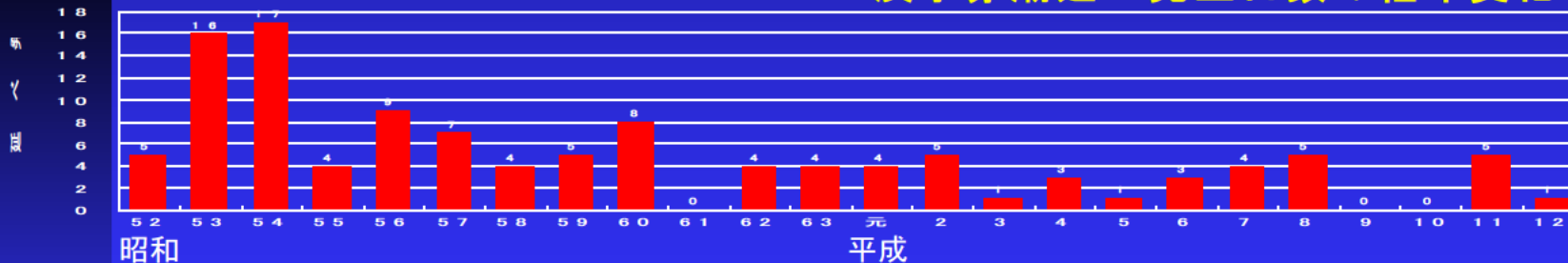
3.3 かび臭、赤潮、アオコの発生状況の経年変化

かび臭発生日数(京都市蹴上浄水場)の経年変化

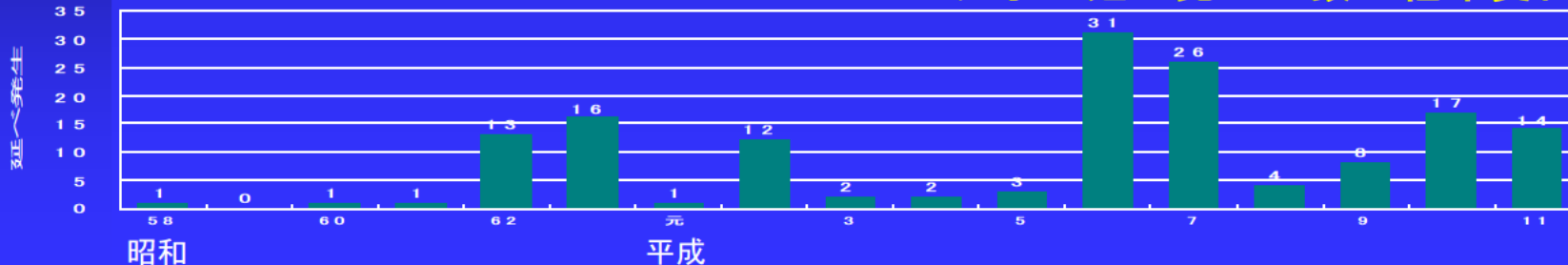


出典: 「みずすまし構想 農村地域の水質保全対策構想 vol.1(1997.3) フォーラム「水田と琵琶湖を語る」(滋賀県農村整備課)

淡水赤潮延べ発生日数の経年変化



アオコ延べ発生日数の経年変化



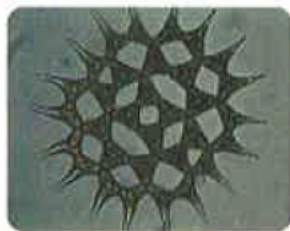
4. 生物の生息状況の変化

4.1 琵琶湖固有種

◆ 琵琶湖の固有種

豊かな自然環境としての価値

豊かな水量と広々とした空間をもち様々な生物を育む琵琶湖が、古い歴史を持って自然界に存在することが大きな価値であり、県民の心のよりどころともなっています。



ビワクンショウモ

写真提供: 衛星環境センター



ネジレモ

写真提供: 琵琶湖研究所



シライシカワナ

写真提供: 琵琶湖研究所

5種

ビワクンショウモ
" の変種
" の変種
ビワツボカブリ
ビワミジンコ

2種

ネジレモ
サンネンモ

プランクトン

水草

琵琶湖に生息する固有種

38種

クロカワナ	フトマキカワナ
タテジワカワナ	オオウラカワナ
タテシマカワナ	シライシカワナ
ナンゴウカワナ	ホソマキカワナ
(ナカセコカワナ)	ビワコシロカゲロウ
ビワオオウズムシ	オトコタテボシガイ
ナガタニシ	イケチョウガイ
イボカワナ	メンカラスガイ
タテヒダカワナ	マルドブガイ
カゴメカワナ	オグラヌマガイ
ヤマトカワナ	セタシジミ
ハベカワナ	クアムラメシジミ
モリカワナ	*イカリビル
ビワコミズシタミ	ビワカマカ
オオミガイ	アナンデルヨコエビ
カドヒラマキガイ	ナリタヨコエビ
ヒロクチヒラマキガイ	ビワコエグリトビゲラ
ササノハガイ	*カウムラナベバタムシ
タテボシガイ	ビワコグレイトミミズ

12種

ビワマス
アブラヒガイ
ビワヒガイ
ホンモロコ
スゴモロコ
ワタカ
ゲンゴロウブナ
ニゴロブナ
ビワコオオナマズ
イトコナマズ
イサザ
ウツセミカジカ

底生動物

魚類

*: 既に絶滅したと考えられる固有種

(): 宇治川で確認された種

出典: 「Nishino and Watanabe(2000): Evolution and dendemism in Lake Biwa, with special reference to its gastropod mollusc fauna」(滋賀県琵琶湖研究所 西野麻知子総括研究員)より



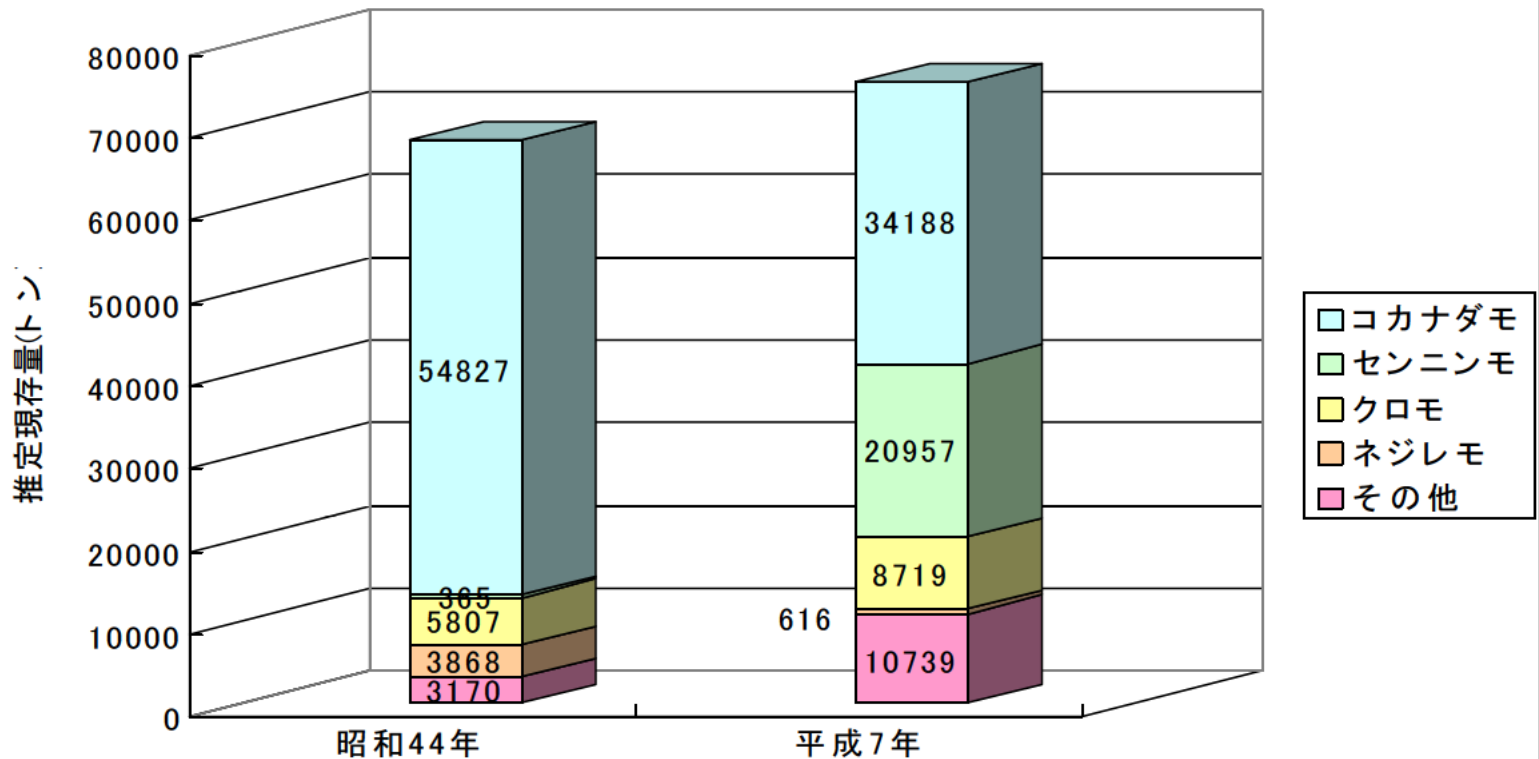
ニゴロブナ

写真提供: 水産課

4. 生物の生息状況の変化

4.2 沈水植物の変化

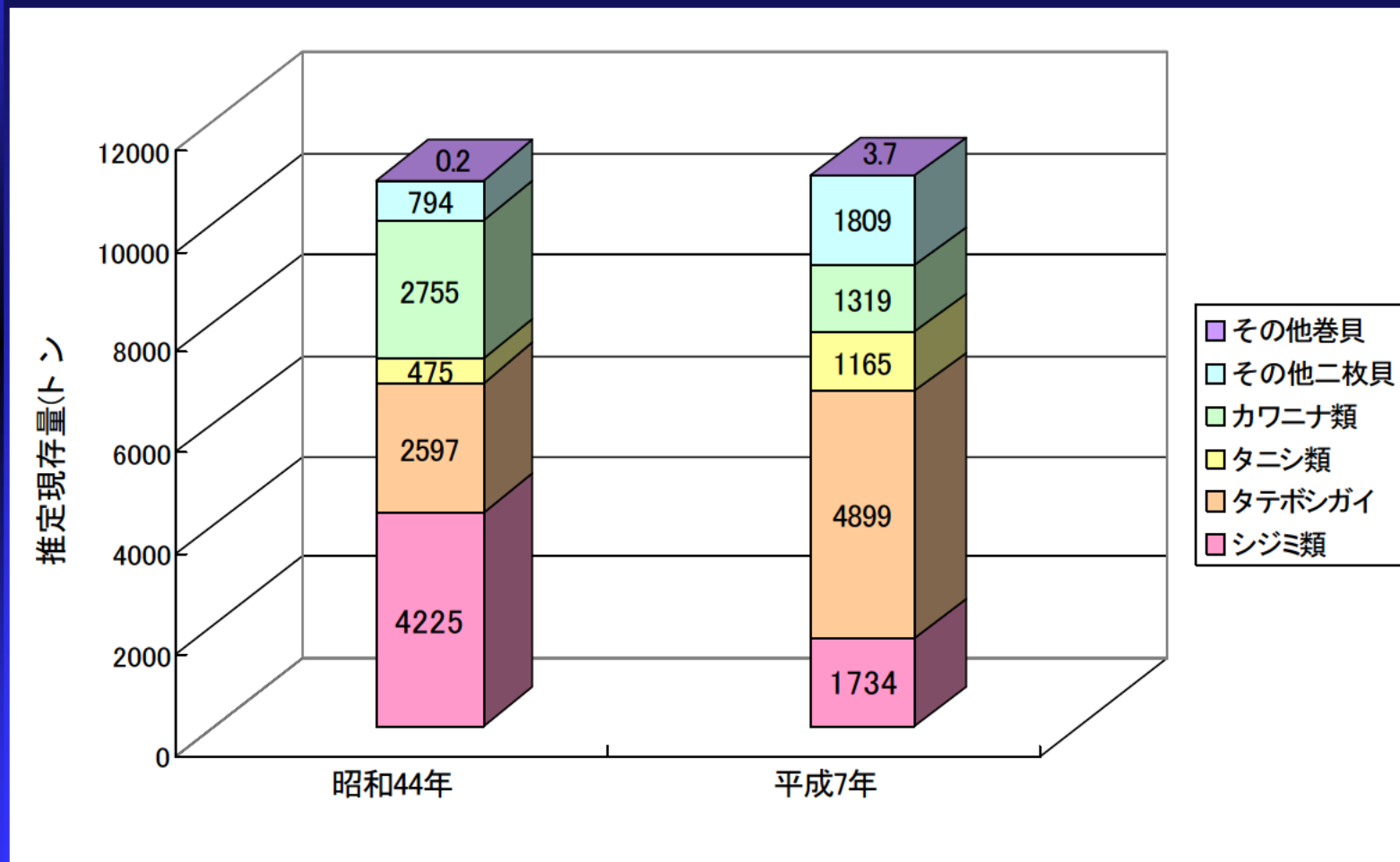
◆ 主な沈水植物の推定現存量の地域別比較



4. 生物の生息状況の変化

4.3 貝類の変化

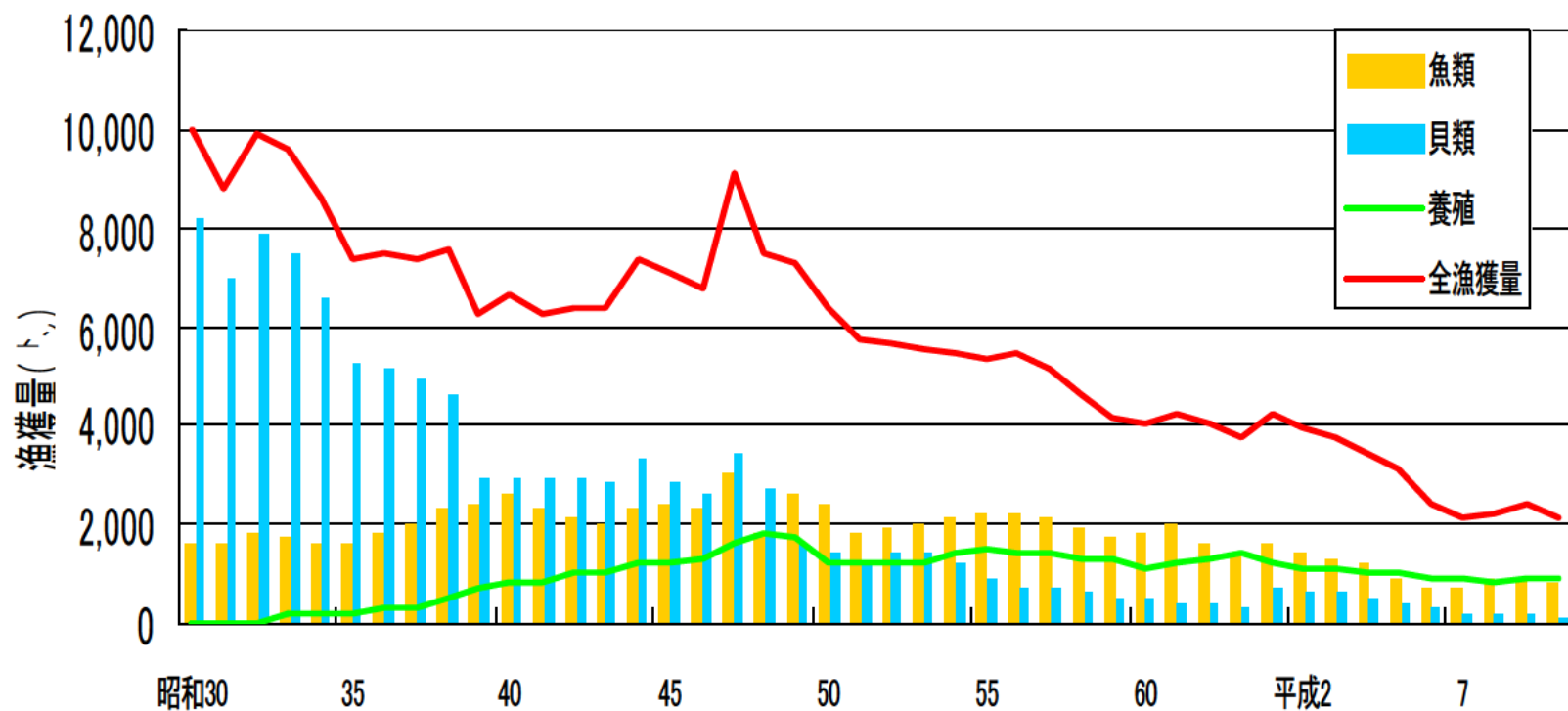
◆ 貝類の地域別推定現存量の比較



4. 生物の生息状況の変化

4.4 魚類の変化

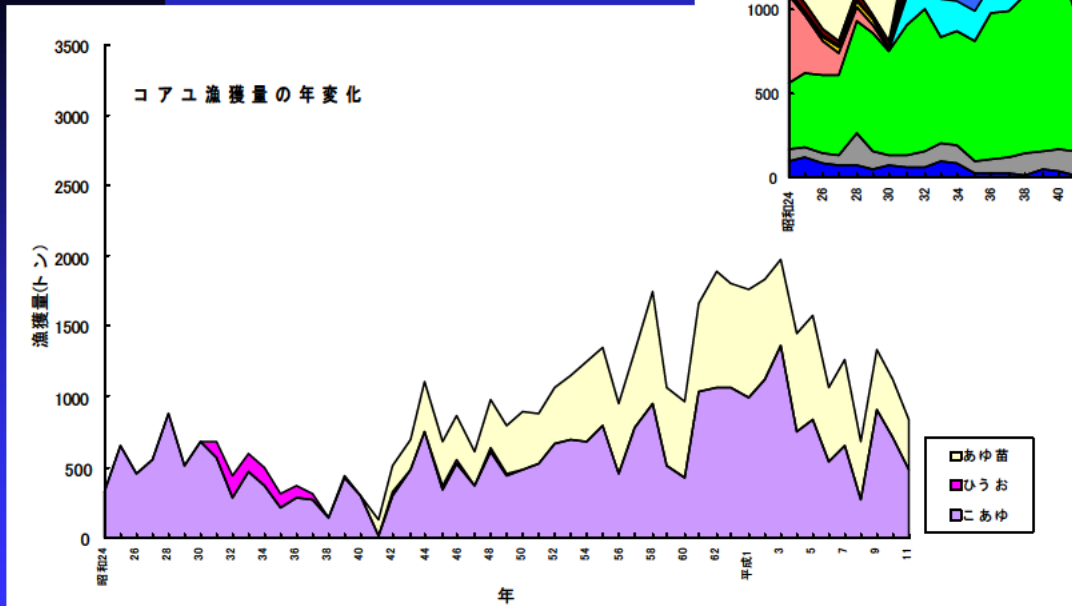
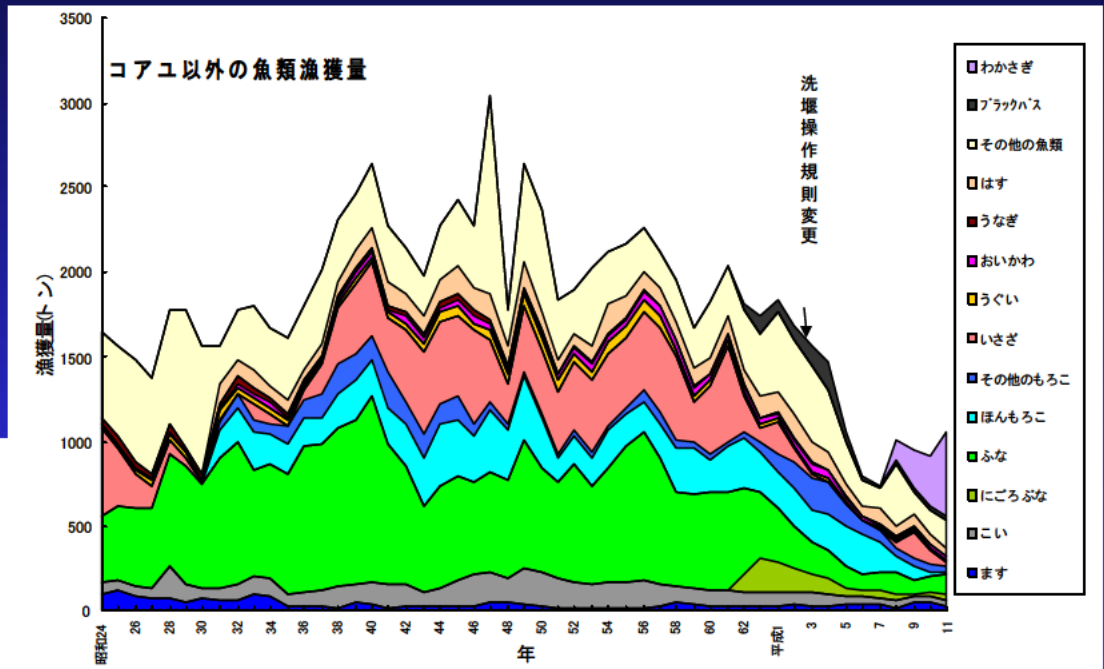
◆ 琵琶湖の漁獲量の経年変化



4. 生物の生息状況の変化

4.4 魚類の変化

◆ 琵琶湖の漁獲量の経年変化



出典：琵琶湖研究所西野麻知子総括研究員